



著者の妻 井上和子は2024年4月21日、夫の一周忌を待たずに永眠した。
サツマイモ活動で休日にも家に居ない夫へ理解を示し、義理の母と同居して世話をし、サツマイモ資料館では土産品販売や展示説明文の清書等を担当した。また数百人に及ぶ夫の友人・知人との交友関係維持を手助けした。この妻無くして著者の仕事は決して成就しえなかったであろう。



箱根旅行の祭、ベコニア園にて（2005年）。